

平成27年度海老名市介護保険運営協議会 第2回会議 結果

日 時：平成27年8月21日（金）
午後1時30分～午後2時30分
場 所：海老名市役所 政策審議室

出席委員 11名

高橋委員、久田委員、小賀坂委員、花田委員、平本委員、川村委員
神崎委員、大貫委員、加藤委員、高野委員、吉田委員
(鈴木委員、窪田委員・橋本委員欠席)

事務局（保健福祉部） 4名

清田保健福祉部次長、小澤参事兼高齢介護課長、
萩原主幹兼高齢者支援係長、荒井

1 開 会 （司会：小澤参事兼高齢介護課長）

2 会長あいさつ

高橋会長：

本年4月から第6期介護保険事業計画がスタートして、早いもので4か月余り経ちます。団塊の世代が皆75歳以上になる平成32年を見据え、地域包括ケアシステムの構築をより一層推進すること、介護保険制度の持続可能性を確保した事業計画を策定したわけで、まさに第一歩を踏み出す年でございます。

介護保険は時代とともに変化しており、平成27年は特養の入所基準の厳格化、利用者の負担割合、負担限度額の適用要件の変更など介護保険法の大きな改正がありました。

また、65歳以上の介護保険料の改定もございました。多くの市町村で第5期と比較し上昇したわけですが、海老名市は県内では綾瀬市に次ぐ低い額に設定しております。

介護保険は時代とともに変化しております。住み慣れた地域で安心して暮らしていける仕組みを維持していくためにも介護保険制度の適正な運営は重要なものと考えます。

本日は、委員の皆様の活発なご意見を申し上げます。

3 議 題（進行：高橋会長）

(1) 平成26年度介護保険実施状況について（萩原係長・荒井係長）

- ・本市の人口、被保険者数、認定者数、保険給付費は右上がりの状況。
- ・平成27年3月末の人口130,225人は外国人を含んだ住民基本台帳に基づくもの。

- ・給付費が増えると保険料にも影響するため、認定者数をいかに抑えるかが今後の課題。そのために介護予防を実施している。
- ・介護給付費を認定者数で割ると年間一人当たり約 140 万円の保険給付費になる。
- ・施設に限っては、年間一人当たり約 314 万円。100 床増床すると年間 3 億円。
- ・需要と供給の観点も大切だが、給付費とのバランスも考慮しながら計画策定することが重要。
- ・国は施設サービスから在宅サービスへシフトする政策を打ち出している。
- ・審査会は昨年 149 回開催し、3,763 件審査した。一回当たりの件数は約 25 件。
- ・保険料の現年分収納率は 98.9%で、県内 5 番目。
- ・保険料は制度の根幹をなすものであり、未納者へは根気強く納付を促す。
- ・給付費を抑えるために介護予防を積極的に実施することが大切で各種事業を行っている。
- ・元気度チェックリストの結果を基に、各種教室への参加を促す。
- ・認知症、閉じこもり予防のために事業に参加されている。
- ・体を動かしながら何か考えるというのが脳への刺激になり効果がある。
- ・自宅でも運動できるようなメニューを用意し実施している。
- ・27 年度は一次予防事業においてもビナスポを活用した事業を考えている。
- ・会場へ参加できない方のために、地域のサロンを活用して気軽に取り組める体操や栄養講座、口腔講座など講師派遣を実施。

委員：収納率 100%にはならないのか。

事務局：100%としなければならないのだが、普通徴収の分があるので、現実的には難しい。

委員：未納者は同じ人か。

事務局：発送している督促状リストを見てみると毎回同じ方という印象はあります。

委員：未納者に対するペナルティはないのか。

事務局：未納期間に応じて、一時的に全額自己負担しなければならなかったり、3割負担となったりと給付制限があります。

委員：要支援の方のサービスが国から市へ移管されるのはいつからか。

事務局：海老名市の場合は、平成 29 年 4 月を予定している。

委員：どのような体制を考えているのか。

事務局：NPOやボランティアを活用していけるよう準備を進めていきたい。

(2) 介護保険施設等の選定結果と公募状況について（荒井係長）

- ・平成 27 年 7 月 1 日から 15 日に掛けて公募したところ、特別養護老人ホームについて 1 事業者、グループホームについては応募なし。
- ・応募があった特養については、8 月 4 日に選定委員会を開催しました。
- ・選考の中では、理念や方針など、一部明確でない部分もありましたが、選定基準を満たしていない項目はないため、選定することとしました。

- ・今後、不明確な部分等については高齢介護課がしっかりと確認、指導しながら進めてまいります。
- ・グループホームについては、7月27日から8月17日に掛けて再公募したところ、1事業者の応募があり、8月26日に選定委員会を開催し、審査します。
- ・なお、グループホームについては応募があったというご報告です。これから選定作業に移りますので、今回の資料は取扱い注意で願います。

(3) グループホームの建替え移転について（荒井係長）

- ・杉久保南にある「グループホームえがお」が施設老朽化が激しいため、建て替えのため移転することとなった。
- ・移転先は市内門沢橋4-459-1。JR相模線門沢橋駅の南側。駅至近。
- ・神奈川県に創設された基金の活用を予定している。
- ・今回の施設は老朽化に伴う建て替え移転のため、整備計画上の変更はなし。
- ・開設を平成28年4月1日を予定している。

委員：建て替え移転の場合は選定委員会の選考はないのか。

事務局：選定委員会は運営事業者を選定する機関であり、今回の場合は運営事業者に変更はないため、選考はありません。

委員：施設の設定の検証みたいのはないのか。

事務局：条例で設備基準が設けられていますので、その基準に沿ったものであるかの確認はいたします。

委員：前の施設は駅から遠かったのか。

事務局：バスを利用しないと行けないところでした。

(4) その他

委員：この介護保険運営協議会は、地域包括支援センター運営委員会を兼ねていると認識している。

地域包括ケアシステムの確立が目玉になっている中で、包括の役割は大きいと考えている。

総合事業を開始した他市に聞くと、包括がてんでこ舞いになっていると聞いているし、利用者から不安の声も聞く。

海老名市の場合、効率的な運営を考えて、運営委員会を兼ねているのだと思うので、ぜひ包括に関する案件も議題に挙げてほしい。

事務局：包括の役割は、地域包括ケアシステム構築に向け、重要と考えているので調整していきたい。

9 閉会（小澤参事兼高齢介護課長）